



小松電機産業社長
小松 昭夫氏

当社は昭和48年2月に設立し、本社を島根県松江に置き、シートシャッター「門番」、上下水道計測・制御・監視システム「やくも水神」などを全国展開しています。このうち、「門番」は電動で開閉でき、省エネ・二酸化炭素の削減などに貢献しています。昨年10月には市場開拓の業績などが評価され、国土交通大臣から表彰を受けました。また、近隣諸国に技術を無償提供することにも、他企業を巻き込みながら、製品の品質向上

や技術標準の構築などを図っています。「やくも水神」はインターネットなどを活用し、携帯電話やパソコンで、施設情報をリアルタイムに把握できる水環境総合管理システムです。東西2拠点のデータセンター（NTTドコモ代々木ビル、当社本社）で通信・データを管理運用し、信頼性の高いネットワークサービス、高いセキュリティを提供しています。なお、昨年は第3世代移動通信サービス「FOMA」を導入し、高機能化と安定化が実現しました。今後は無線通信が主流になると考えています。

「やくも水神」関連製品には▽水道施設管理システム：「マスター水神」▽パッケージ水神（水道施設監視制御装置）▽下水施設監視制御装置▽多目的管理システム▽ゲート管理システム▽水位・流量観測システムなどがあります。これらの製品群は機能や危機管理体制などを高く評価していただき、ご好評を得ています。このように製品性能や研究開発への取り組みを重視

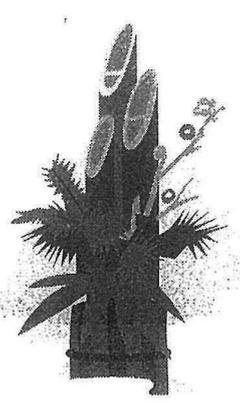
た。「平和・環境・健康」をテーマに、グローバル時代における中海・赤道湖圏の日本・アジア・世界に対する役割を探り、地域開発や経済発展を研究しています。近年、アジア近隣諸国との関係が芳しくありません。今後はさらなる相互理解に向け、通信網などを利用した「心のインフラ」を整備し、日本海を対立から交流の海とし、共生の文化への移行を目指していくことが重要です。

機器納入3千カ所達成へ

「グローバル」の意識を

しないと、新しい価値観やベンチャー意識が育たず、国全体にとってもマイナスになります。さらに、当社は排水施設から濃縮微生物液や有益機能水を創出する処理方式を開発し、実証試験を終了しました。この方式が普及すれば、農業・畜産などの分野で大きな成果が期待できます。一方、当社は平成6年に「財団法人人間自然科学研究所」を設立しまし

た。「平和・環境・健康」をテーマに、グローバル時代における中海・赤道湖圏の日本・アジア・世界に対する役割を探り、地域開発や経済発展を研究しています。近年、アジア近隣諸国との関係が芳しくありません。今後はさらなる相互理解に向け、通信網などを利用した「心のインフラ」を整備し、日本海を対立から交流の海とし、共生の文化への移行を目指していくことが重要です。また、中小規模の事業体・企業においても、世界でどのような役割を果たすかという「グローバル」の意識も必要です。その一環として、「道州制」の動向に注目しており、早期に実現すべきだと思えます。21世紀は環境の時代と言われています。環境には自然とともに社会もありますので、これらの環境に対し、産官学が連携して新文化の創造をするためには、新しいSDC（シ



ンテツ・コンセプト・キャラクタ）の確立が求められます。特に水環境は総合管理、地域密着が不可欠で、1国や1事業体、1企業だけで解決できる問題ではありません。このため、当社は製品・技術などを通じて、水の総合管理のことにしています。さて、私の年末年始の過ごし方ですが、旅行も兼ねて国内外を視察することにしています。